



2022年 12月21日
第89号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.ireu-yokohama1.jp/>



福知山線脱線事故を振り返る vol. 1

【福知山線脱線事故とは】

2005年4月25日、兵庫県尼崎市でJR福知山線の快速電車がカーブを曲がりきれずに脱線し、線路脇のマンションに衝突。乗客106人と運転士が死亡し、562人が重軽傷を負った。

鉄道事故調査報告書に記載された事故の原因

本事故は、本件運転士のブレーキ使用が遅れたため、本件列車が半径304mの右曲線に制限速度70km/hを大幅に超える約116km/hで進入し、1両目が左へ転倒するように脱線し、続いて2両目から5両目が脱線したことによるものと推定される。本件運転士のブレーキ使用が遅れたことについては、虚偽報告を求める車内電話を切られたと思い本件車掌と輸送指令員との交信に特段の注意を払っていたこと、日勤教育を受けさせられることを懸念するなどして言い訳等を考えていたこと等から、注意が運転からそれたことによるものと考えられる。本件運転士が虚偽報告を求める車内電話をかけたこと及び注意が運転からそれたことについては、インシデント等を発生させた運転士にペナルティであると受け取られることのある日勤教育又は懲戒処分等を行い、その報告を怠り又は虚偽報告を行った運転士にはより厳しい日勤教育又は懲戒処分等を行うという同社の運転士管理方法が関与した可能性が考えられる。

事故の背景には日勤教育があった！

「日勤教育」の概要（国土交通省ホームページより引用）

JR西日本では、乗務員が事故等を発生させた場合に、就業規則の定めに基づき、必要により当該乗務員の勤務形態を日勤勤務に変更し、再教育（いわゆる「日勤教育」）を行っている。再教育の可否及び内容については、現場の各箇所長が、事故の原因、本人の事故歴、教育・指導に対する理解度等を勘案した上で、個別具体的に判断している。

乗務員に対する再教育は、事故等の再発防止のために実施されるものであるが、日勤勤務の中で業務指示として環境整備（除草、社内清掃等）が行われること等により、再教育の趣旨・目的が教育対象者にとって不明瞭となっていた可能性があるとの報告を受けている。

再教育は事故等の再発防止のために実施される

はずが！

除草作業・職場清掃・トイレ掃除
就業規則の書き写し・暴言を浴びせる

ペナルティのような日勤教育がヒューマンエラーを誘発しかねない状況をつくった！